

「第2回 小樽市雪対策基本計画策定 懇話会」意見交換内容（概要版）

日時：令和元年8月23日 14：00～16：00

場所：市民会館第1号集会室

出席者：委員12名（うち代理出席2名）

オブザーバ：2名

傍聴者：2名

事務局：4名

○：委員からの意見等

→：事務局の意見等

()：補足説明

1 雪対策基本計画の構成について

- 現実的な雪対策についての計画となっているが、中・長期ビジョンにたった雪対策に対する考え方もあった方が良くと思います。
- 雪対策基本計画の構成として、効率的な雪対策他、3つの柱は良くと思います。
- 具体的な取組案として、どのようにやっていくのかが重要なところと思います。
中・長期にわたって、どの方向に向かっていくのかというところを記載した方が良くと思います。

2 「市民の声」について

- 「市民の声」のなかで、山坂が多く奥行が突き当たるような小道（私道路）の両側に住宅が張り付いているような地域からの排雪に対しての意見がなかったでしょうか。
→「市民の声」に関しては、主に市道についての要望・苦情を取りまとめておりますが、私道の排雪要望も含まれていると思います。
雪対策基本計画では、私道も含めた小樽市全体の雪対策の方向性ということで取りまとめたいと考えています。
- 「市民の声」の除雪後の苦情で、「置き雪の形状が例年と違う」とは何でしょうか。
→除排雪作業を行っているオペレータが毎年、同じ人とは限らないので、人が替わると作業の仕方も変わり、除雪した雪の置き方が去年と違うという内容です。
- 「市民の声」と累積積雪深の関係は、何でしょうか。
→「市民の声」件数と累積積雪深は、ある程度相関があるものと考えています。
(第1回懇話会資料P14参照)。累積積雪深とは、日々の積雪深さの累計になるが、この数字が多いということは、雪が融けづらい気象状況であったと理解しています。
このような気象状況のときに、「市民の声」の件数も増えることとなります。

3 地域総合除雪による安全な交通の確保について

- 取組案で市の職員の方が通勤時の道路状況を報告することは、素晴らしいが、具体的にどのような方法で行うのでしょうか。
→通勤時の道路状況、車での通勤の場合、ワダチ、ザクザク、ツルツルなど、公共交通機関（バス）の場合は、ガタガタや運行の遅れ等の情報、日々気づいた時に報告する仕組みを考えています。
報告様式を作って、FAX、メール等での報告が考えられます。
- 出勤時に路面がツルツルでは意味が無いと思います。
→今回の提案は、除雪ステーションで行う道路パトロールを補完する取組として御理解ください。
- 黄色いパトロール車が巡回しているのを見ると安心感があります。さらに、出勤前の時間帯も見ていただければ、市民の皆さんも安心できると思います。

- 市民から除雪依頼等の写真を撮って送ってもらうことを市民の皆さんへ広めてはどうでしょうか。送る基準等のルールを決める必要があると思うが、効率的になるのと思います。

4 効率的で持続可能な雪対策の検討について

- （除雪の作業管理として、）効率的な作業ということで、望洋台地区にウェブカメラを設置し、降雪の状況を随時、スマホで確認しています。
- 除雪作業の人材について、砂まき等に限定している再委託作業の禁止の解除をお願いしたい。将来の除雪事業の継続のためにも検討が必要と考えます。
- オブザーバ（国道、北海道）
除雪機械の全車種ではないが、インターネット上で位置の確認等を行っている。
- 除雪機械に設置したスマートフォンに道路の情報等送られていきます。作業の指示、状況の確認ができます。
- Twitter でアプリみたいなものを使い道路の危険な箇所の情報を、交通事業者さんや市民などが情報共有すれば、道路パトロールだけでカバーできない所も可能になると思います。
- 皆さんから道路の情報をいただくことは、業務の省力化になると思います。
冬の路面は刻々と変化するので、現状の情報をリアルタイムに押えることは難しいので、色々な手段で情報を入手することが大事と感じております。その方法として最新技術の活用や、アプリの開発など、皆さんも使える仕組みを考えることが重要と思います。
- 他都市でも Facebook を利用して、市に写真を送ったり、情報を送ったりして共有しています。メリットもデメリットもあると思うので1つの研究材料としていく必要もあると思っています。

5 交通事業者や教育機関との連携強化について

- 市内のタクシー会社8社で、配車係が道路状況について連絡を取り合っているの、ある程度、道路状況の把握ができると思います。
- バス会社さんとタクシー会社さんとの連絡、どのタイミングで定期連絡、随時の連絡体制も考えられると思います。
- （記載している）取組案にしっかり取り組んでいただければ、ある程度大丈夫かと思えます。通学路については、個々の学校事情がある。教育委員会と学校関係者の情報共有や連携が必要と考えます。
- 学校付近の交差点等、子供目線に合わせての除雪が必要です。

6 協働の取組について

- 貸出ダンプ制度を利用していない場所で、地域でお金を出し合い排雪している所もあります。
こういう地域に対して、事情に応じた助成があればよいと思います。
- 分科会において、「貸出ダンプ制度」の利用について、協働の取組案として、「助成金制度」の提案をしています。また、札幌市で行っているようなパートナーシップ制度（生活道路の排雪）を併せて提案しています。現状では、貸出ダンプ制度の御利用について個別に相談いただきたいと考えています。
- 地域には色々な事情があり、皆一律ではない。地域の事情を鑑みて判断していただきたい。

- 小樽市で、過去に融雪槽の貸付制度があったと思います。制度の復活は考えられないのか、除雪以外に雪を融かすという視点もあってよいと思います。
- 当時、自分の敷地に融雪槽、ロードヒーティングを設置する場合、無利子で貸付けする制度はありましたが、融雪槽は雪が融けづらい等、なかなか活用されずに制度が無くなっています。
- 福祉除雪のボランティアの方が集まってくればいいのですが、平日はなかなか集まらないので民間委託をするので、金額（事業費）も膨らみます。
- 福祉協議会の職員が各家庭を回って除雪作業を行っています。敷地に置き雪が出来ない場合は民間に排雪を依頼しています。
福祉除雪の財源は、年末歳末たすけあいの義援金ですが、年々募金額が下がっており、除雪維持をどうしていくかを考えています。
- 融雪槽のある所は福祉除雪の対象にならない。しかし、融雪槽のある場所は、運搬排雪をしなくてよいので、安くすむというメリットもあります。

7 「雪置場」について

- 排雪と雪置場をどうリンクしていくかが課題と思います。
- 河川（勝納川）への小型除雪機への排雪は可か不可でしょうか？
- 勝納川は北海道の管理ですが、「雪置場」として市が使用させていただいています。
人力程度の除雪作業を想定しているので、小型除雪機による排雪は市でも判断しかねます。
- 川に雪を捨てるのは良いということでしょうか。
- 原則、川に雪を捨てるのはいけません。ただし、勝納川については、川幅もありますので、人力程度の雪捨てに限定しています。
- 勝納川の地域の方は、夏は川の清掃に尽力しているので、冬は雪捨て場として開放してほしいと思う。
- 河川管理に支障がない範囲というところで、北海道と話し合いを進めたい。
- 公園に雪を捨ててよいのでしょうか。
- 原則、禁止であるが、公園内にある遊具等を壊さないよう注意して作業を行っていただきたい。
今後、公園管理に支障が無い範囲で「雪置場」として活用したい。
- 計画の中に、河川、公園を雪置場とすることを明記するのでしょうか。
- 明記を考えている。公園の中には土地だけ（遊具が無い）の場所もある。公園も含めて冬の生活に役立てたい。
- 市民が公園に雪を捨ててよいか問合せたら「いいですよ」と回答してもらえるのでしょうか。
- 可能と思います。
- 誰が問い合わせても同じ対応になるように、公園の情報もオープンにする必要があります。
- 廃校となった学校のグラウンドを雪置場としたり、現に使用している学校のグラウンドに一時的に雪を置けますでしょうか。
- スキー授業用に小学校のグラウンドに雪を入れたり、別の小学校では、道路の雪をグラウンド脇に置いたり活用しています。
5月の運動会までに融かすことと条件がありますが、間に合うようであれば問題ないと考えています。
- 市の廃校となっているグラウンド跡地の利用についてですが、広い土地なので地域の雪置場として活用できますでしょうか。
- 山の上にある旧石山中学校は難しいと思うが、旧塩谷中学校、旧最上小学校は、雪堆積場として活用しています。

○私の町内では、旧堺小学校のグラウンドを借りています。さらに小規模な雪置場として民間の土地をお願いしたが貸してくれなかったこともあります。民有地を「雪置場」として使用するとき、所有者に税制優遇（固定資産税）のメリット等を検討してほしい。

8 その他

○流雪溝について、山・坂の多い所へ共同で使用できる流雪溝の設置は考えられないでしょうか。

お金の問題はあるが、長期ビジョンに立った課題としていかがでしょうか。

市の計画の一部に入っていればいいなと思います。

→第2回分科会において、流雪溝設置の御意見をいただいております。

市としては、安全管理面のこともあり、設置は難しいと回答しています。

市内流雪溝を設置できる場所があるのか、考えているところですが、課題も多いと思っています。

○龍徳寺横の国道にでる交差点の路面状態が悪く（雪にまとまりが無いような状態）なのは、なぜでしょうか。

→冬期間の市道と国道の路面管理の方法の違いがあります。国道は融雪剤を使用し、市は圧雪管理で融雪剤を使用していないため、融雪剤の混じった雪の所が、まとまりの無い状況となります。

以上